

主題：イエスにあるあの実際としてのキリストを学ぶことによって、
キリストのからだの実際の中で生きる

メッセージ 1

実際の霊によって、イエスにあるあの実際としてのキリストを学び、
神・人の生活をして、神の永遠のエコノミーを成就する

聖書：エペソ 4:20-24. ヨハネ 16:13. 6:57

I. 神の心の願いは、イエスにあるあの実際、すなわち四福音書に記録されているイエスの神・人の生活が、実際の霊によって、キリストのからだの多くの肢体の中で複製されて、神のエコノミーにおける高嶺である、キリストのからだの実際となることです——エペソ 4:20-24：

- A. 「イエスにあるあの実際」とは、四福音書に記録されているような、イエスの生活の実際の状態を指しています。イエスは神の中で、神と共に、神のために、すべてのことを行なう生活をしました。神は彼の生活の中におられ、彼は神と一でした。これが「イエスにあるあの実際」の意味することです——20-21 節：
1. 主イエスは自分から何もせず（ヨハネ 5:19）、自分のわざを行わず（4:34. 17:4）、自分の言葉を語らず（14:10, 24）、自分の意志によっては何も行わず（5:30）、自分の栄光を求めませんでした（7:18）。彼が決して失望しなかったのは、神だけで満足していたからです（イザヤ 42:4. 50:4-5. 53:2 前半. 参照、ヨハネ 4:13-14. 6:15. マルコ 9:7-8）。
 2. 主イエスは、祈りの人であり、神と一であり、絶えず神の臨在の中に生き、どのような苦難や迫害の下でも、自分にではなく、神に信頼し、この世の支配者であるサタンが彼の中で何も持たない人、すなわち何の立場も、望みも、機会も、すべてのことで何の可能性も持たない人でした——ヨハネ 10:30. 8:29. 14:30 後半. 16:32-33. I ペテロ 2:23：
 - a. 主イエスは肉体の中の人でしたが、彼は神聖で奥義的な領域で、奥義的な神に祈りました。彼はしばしば山へ行ったり、一人になれる場所へ行って祈りました——マタイ 14:23. マルコ 1:35. ルカ 5:16. 6:12. 9:28。
 - b. 彼は決してお一人ではなく、父が彼と共にいました。彼はいつでも父の御顔を見ていました——ヨハネ 5:19. 16:32. 詩 16:7-8。
- B. 彼は命であるご自身をもって、わたしたちに仕えるために来しました。彼は過去わたしたちに仕えてきて、現在わたしたちに仕えており、将来わたしたちに仕えます——マルコ 10:45. ルカ 22:26-27. マルコ 6:45-51. ヨハネ 10:10. 6:48. 8:12. 13:4-8. 18:7-9. ルカ 12:37。
- C. 神にとって喜びである唯一の生活は、キリストが地上で生きた生活の繰り返しである生活です。わたしたちは主によって成就されて、多くの神・人となり、最初の神・人であるキリストの模範にしたがって、天然の命を否むことによって、神聖な命を生きます——マタイ 11:29 前半. 17:5 後半. I ペテロ 2:21。
- D. わたしたちが神ご自身である愛の中に住んでいるとき、愛は「わたしたちの中で全うされました。それは、わたしたちが裁きの日に大胆さを持つためです」。キリストはこの世で愛である神の命を生き、そして彼は今や愛ですが、それはわたしたちがこの世で同じ愛の命を生きて、彼と同じになるためです——I ヨハネ 4:16-17。
- E. 新しい人としてのキリストのからだの生活は、イエスの生活と全く同じであるべきです。イエ

スの地上での生き方は、今日の新しい人としてのキリストのからだの生き方であるべきです——エペソ 1:22-23. 2:10, 15. 4:20-24。

F. 四福音書は、神が願っている生活の模範、すなわち神を満足させ、彼の目的を成就することができる生活の鋳型を見せています。キリストを学ぶとは、キリストの模範に形成されること、すなわち、キリストのかたちに同形化されることです——ローマ 8:28-29. エペソ 4:21 :

1. 四福音書に啓示されているように、彼は地上での生活において模範を据えました。後ほど、彼は十字架につけられ、復活して、命を与える霊と成りましたが、それはわたしたちの中へと入って、わたしたちの命となるためでした。わたしたちは彼の模範にしたがって、わたしたちの天然の命によってではなく、復活の中で、わたしたちの命である彼によって、彼から学びます——Ⅰコリント 15:45 後半. コロサイ 3:4。
2. わたしたちが主を愛し、彼と接触し、彼に祈るとき、わたしたちは福音書に描写されている鋳型、形、模範にしたがって、自動的に彼を生きます。このようにして、わたしたちはこの鋳型のかたちに形成され、同形化されます。これが、キリストを学ぶことの意味です——マタイ 11:29. ローマ 8:29。
3. わたしたちのクリスチャン生活は、キリストの中での生活であり、わたしたちの中にいるキリストの生活でもあります。わたしたちは鋳型であるキリストの中におり、また彼はわたしたちの命としてわたしたちの中にいます。このようにして、わたしたちはイエスにあるあの実際としてのキリストを学ぶのです。この実際は、キリストのからだの実際です——Ⅰコリント 1:30. Ⅱコリント 5:17. 12:2 前半. コロサイ 1:27. ガラテヤ 2:20. ローマ 8:10。

G. キリストのからだの実際は、成就された神・人たちによる団体の生活であり、彼らは、最初の神・人であるキリストの様式にしたがって、彼らの古い人の天然の命を否むことによって、彼らの新しい人の神聖な命を生きます。これらの成就された神・人たちは、穀物のささげ物である召会生活を、すなわち、キリストの人の生活の繰り返しとしての、霊に満たされ、復活で浸透され、十字架で清められた人の生活を生きます——マルコ 8:34. ローマ 6:4-6. ガラテヤ 2:20. エペソ 3:16-17 前半. Ⅰペテロ 2:21. レビ 2:1-2, 4-5. Ⅰコリント 12:12, 24. 10:17。

H. これらの成就された神・人たちは真正な人たち、すなわち、彼らの命によって生きるのではなく、手順を経た神の完全に威厳のある命によって生きる人たちであり、彼らの属性が彼らの美德を通して表現されます。団体的に彼らは、神性によって豊かにされた人性の中で、再び地上でイエスが生きることです——ピリピ 1:19-21 前半. 3:10. 4:5-9, 11-13。

Ⅱ. キリストのからだの実際は実際の霊であり、わたしたちの霊とミングリングされたイエスの霊である実際の霊です。イエスの霊は、イエスにあるあの実際、イエスの神・人の生活を含みます——ヨハネ 16:13. 14:17. 使徒 16:7. ローマ 8:16. Ⅰコリント 6:17 :

A. この実際の霊は手順を経た三一の神を、キリストのからだにおいて実際とならせます。わたしたちの中の実際の霊は、キリストのからだの生活の実際、すなわち、神聖な命によって神・人の生活を生きる実際の中へとわたしたちを導きます——ヨハネ 6:13-15. ピリピ 1:19. 参照、出 30:22-25。

B. すべての十分な神は（創 17:1. ピリピ 1:19）、実際の霊としてわたしたちの霊の中に住み、結合されて、一つのミングリングされた霊です（ローマ 8:16. Ⅰコリント 6:17）。この霊は、キリストのからだに対する、手順を経て究極的に完成された三一の神であるすべての秘訣です。キリストのからだの実際の中に生きるために、わたしたちはわたしたちの霊を知らなければならず、用いなければならず、活用しなければなりません（エペソ 1:17. 2:22. 3:5, 16. 4:23.

5:18. 6:18)。

- C. 実際の霊は、手順を経た三一の神のすべての属性の総合計です。実際の霊は、手順を経た三一の神のすべての手順の効力です——ピリピ 1:19-21 前半. 4:12. 参照、創 17:1。
- D. わたしたちの再生された霊の中に住んでいる実際の霊は、わたしたちの霊と結合されて一つ霊となっています。わたしたちは全存在をこの結合された霊につけ、置いて、この結合された霊にしたがって生き、歩くべきです——ローマ 8:4, 6, 9-11, 16. I コリント 6:17:
1. わたしたちがこのようにしてこの結合された霊の中に生きるとき、キリストのからだの実際を生かし出して、キリストの団体の表現となります——エペソ 1:22 後半-23。
 2. わたしたちはキリストのからだの実際の中で、すなわち、その霊の中で生き、語らなければなりません。わたしたちがその霊の中にいるとき、わたしたちは一の中にあります。なぜなら、一はその霊であるからです——ガラテヤ 5:25. ローマ 8:4. II コリント 3:6, 8. エペソ 4:3-4。
- E. わたしたちがミングリングされた霊の中で生きるとき、実際の霊によって、イエスにあるあの実際にしたがって、キリストを学んでいます。わたしたちが、わたしたちの模範から学ぶのは、彼の伝記がわたしたちの歴史となるためです。新しい人としてのキリストのからだの生活は、諸福音書で啓示されたイエスの生活と全く同じであるべきです——ガラテヤ 6:17-18. ローマ 1:1, 9. エペソ 4:20-24. ピリピ 2:5. マタイ 11:29. I ペテロ 2:21。

Ⅲ. ヨハネ第 6 章 57 節は、イエスにあるあの実際、すなわちイエスの神・人の生活が、どのようにしてキリストのからだの実際である、新しい人の団体の神・人の生活となって、イエスの神・人の生活を複製することができるかを啓示します：

- A. ヨハネ第 6 章 57 節前半は言います、「生ける父がわたしを遣わされ、わたしが父のゆえに生きているように、わたしを食べる者も、わたしのゆえに生きる」。これは、イエスにあるあの実際、すなわちイエスの神・人の生活です：
1. 主イエスが御父「のゆえに」生き、最も豊かな恵みを予表する「天のバター」として、また最も甘い愛を予表する「天の蜜」として、絶えず御父を享受したことは、彼が御父を生きる供給の要因と、彼が御父に従い、御父の完全なみこころを選ぶ、力づける要因となりました——イザヤ 7:14-15 (参照、米国標準訳 1901 年版、ダービーの新訳、キングジェームズ訳). 出 3:8. ヨハネ 1:14-17. 5:19-20. 8:29. 16:32. 17:26. ルカ 2:12. ピリピ 2:8。
 2. 彼の御父に対する従順の力は、彼が祈りの人となって、最も豊かな恵みと最も甘い愛として御父を享受し、御父に絶対的に服従して、御父の完全なみこころを遂行しました——マタイ 11:25-30. 14:22-23. マルコ 1:35. 10:45. 14:36。
- B. ヨハネ第 6 章 57 節後半は言います、「わたしを食べる者も、わたしのゆえに生きる」。これはキリストのからだの実際、すなわち、キリストのからだの多くの肢体による団体の神・人の生活です。彼らは、イエスにあるあの実際としてのキリストを学び、彼のゆえに生きます：
1. わたしたちはキリストをわたしたちの手段として取り、キリストに「よって」生きるのではありません。わたしたちはキリスト「のゆえに」生きて、キリストをわたしたちの生活の供給する要因とします。わたしたちの食物としてのキリストのゆえに生きるために、わたしたちは彼を食べなければなりません。それによって、彼は供給し、活力を与える要因となって、わたしたちの中で、わたしたちを通して生き、神の完全なみこころとして彼のからだを建造することができます——63 節. エレミヤ 15:16. ローマ 8:2. 12:1-2。
 2. わたしたちは日ごとにあわれみ深い方としての彼と接触し、毎朝「主イエスよ、あなたを愛

します」と言って更新されることによって、彼の複製となることができます。それから、わたしたちは彼に語りかけ、彼の言葉を食べることによって彼を食べて、彼を享受し、彼を生きて、彼であられるものになることができます。

C. 主イエスを遣わして人と成らせた神の目的は、彼が神聖な命によって神・人の生活を生きるためでした。わたしたちが彼を食べるとき、わたしたちは彼のゆえに生きて、彼と全く同じである宇宙的な大いなる人、すなわち、神聖な命によって神・人の生活を生きる人となります——哀 3:22-24, 55-56. 啓 2:4, 7. ヨハネ 6:57, 63. エレミヤ 15:16. エペソ 6:17-18. 詩 119:15.

IV. この団体の神・人の生活は、わたしたちを団体の模範、からだの実際とさせます。そのような模範は、召会歴史における最大の復興となって、主の再来をもたらします——マタイ 16:18. 啓 19:7-8。

© 2022 *Living Stream Ministry*